

2017年10月30日

各位

双日株式会社

## 双日、スペインの LNG 受入基地事業に資本参画

双日株式会社（以下、双日）は、スペイン北西部にあるムガルドス LNG 受入基地の操業会社レガシフィカドラ・デル・ノロエステ株式会社（Regasificadora Del Noroeste SA、以下、レガノサ）の株式 15%を保有するファースト・ステート・レガシフィカドラ株式会社（First State Regasificadora S.L.U.、以下、FSR）の株式 100%を取得し、社名を双日・レガシフィカドラ株式会社（Sojitz Regasificadora S.L.U.、以下、SR）に改め、日系商社として初めて欧州での LNG 受入基地事業に参画します。



【ムガルドス LNG 受入基地全景】



【ムガルドス LNG 受入基地の立地図】

レガノサは、2007年よりムガルドス LNG 受入基地の操業を開始しました。ムガルドス LNG 受入基地で受け入れた LNG はスペイン国内に供給されるのみならず、一部は再度船積みされアジアなどに再出荷されています。本受入基地は、今後、船舶燃料用 LNG の供給基地としても活用される予定です。

双日は、1970年代より LNG 関連ビジネスに携わってきており、インドネシアやカタールでの LNG 液化販売事業や LNG トレーディング事業、日本での LNG 輸入業務を通じて多くの経験、知見を培ってきました。これらの LNG 知見および総合商社としての多岐に渡るビジネス経験を活かして、ムガルドス LNG 受入基地の更なる発展および効率化をサポートします。

双日は、LNG の受入基地および液化販売事業のグローバル展開を進めており、今後は ASEAN、南アジアなどを含む他地域での LNG 受入基地事業の拡大を目指すとともに、LNG 液化販売事業を通じて世界最大の LNG 輸入国である日本への安定的なエネルギー供給の実現に貢献していきます。

以上

(ご参考)

## 【レガノサの概要】

社名	Regasificadora Del Noroeste SA
設立	1999年3月
本社所在地	Punta Promontoiro, s/n, 15620 Mugarodos, A Coruña Galicia, Spain
代表者	Chairman : José María Paz Goday Managing Director : Emilio Bruquetas Serantes
資本金	47.5百万ユーロ
出資構成	双日 : 15.00%、トヘイロ・グループ : 50.69%、ガリシア州政府 : 24.31%、ソナトラック : 10.00%
事業内容	LNG受入基地の保有・操業およびガス輸送事業

## 【SRの概要】

社名	Sojitz Regasificadora S.L.U.
設立	2017年10月
本社所在地	Claudio Coello, 124, 28006 Madrid, Spain
代表者	蛭子 貴裕
出資構成	双日 : 100%
資本金	10万ユーロ

## 【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404